

USB接続デジタル入出力基板に添付しているCD-ROM収納のVBサンプルプログラム、およびWEB掲載のVBサンプルプログラムには、次の3種類があります。

- (1) ダイレクト版デバイスドライバ関数を使用したもの
 → ダイレクトドライバ版
- (2) 仮想COM版デバイスドライバを用いて、API関数を使用したもの
 → 仮想COM API版
- (3) 仮想COM版デバイスドライバを用いて、マイクロソフト社のActiveXコントロールのひとつであるMSCommを使用したもの
 (受信データが指定バイト数になるごとに受信処理を行う、イベントドリブン方式)
 → 仮想COM MSComm版

いずれもVB6対応です。

これらのサンプルプログラムは、VB.NET VB2005 VB2008にてプロジェクトを開くと、アップグレードウィザードがスタートし、各バージョンに自動的に変換することができます。

基板別に次のようなフォルダ分類をしています。

ソースプログラム、プロジェクトファイル、実行ファイルを収納しています。

DACS-1500	および	DACS-2500	
D15DIDRB		ダイレクトドライバ版	
D15DIDMB		ダイレクトドライバ版	マルチデバイス用
D15DIVB6		仮想COM API版	
D15DIVBM		仮想COM API版	マルチデバイス用
D15DIVBS6		仮想COM MSComm版	
DACS-1700			
D17DIDRB		ダイレクトドライバ版	
D17DIDMB		ダイレクトドライバ版	マルチデバイス用
D17DIVB6		仮想COM API版	
D17DIVBM		仮想COM API版	マルチデバイス用
D17DIVBS6		仮想COM MSComm版	
DACS-2600			
D16DIDRB		ダイレクトドライバ版	
D16DIVB6		仮想COM MSComm版	
DACS-8200			
D82DIDRB		ダイレクトドライバ版	
D82DIVB6		仮想COM API版	
D82DIVBS6		仮想COM MSComm版	

カウンタ機能テスト用(ダイレクトドライバ版)

DACS-1500-CNT	D15DICNTB
DACS-1700	D17DICNTB
DACS-2500-CNT	D15DICNTB (DACS-1500-CNTと共用)
モーションコントローラ機能テスト用(ダイレクトドライバ版)	
DACS-1500-PMC	D15DIPMCB
DACS-2500-PMC6	D25DIPMCB

仮想COM MSComm版 を実行するには

プログラム開発ソフトであるVB6をインストールしていないパソコンにて、仮想COM MSComm版 を実行するには、MSCOMM32.OCX を、適当なホルダーにコピーして、このCOMコントロールをレジストリに追加する必要があります。

たとえば、CドライブのWINDOWS¥system32のなかにコピーした場合、コマンドプロンプトを開いて、

regsvr32 C:¥WINDOWS¥system32¥MSCOMM32.OCX & とキー入力して追加します。

製造販売

ダックス技研株式会社
〒709-1203 岡山県岡山市南区西紅陽台1-58-650
TEL 08636-2-0782 FAX 08636-2-0395
ホームページ <http://www.dacs-giken.co.jp>